

4 事業の実施状況

(4) 調査研究事業

医学的リハビリテーション技術の向上と障害者の福祉の向上を図るため、調査研究事業を行っている。

研究内容

A 令和元年度研究発表業績

ア 診療部

医局

1. VE 検査で認める喉頭蓋の咽頭後壁接触所見と嚥下障害の重症度との関係
いわてリハビリテーションセンター診療部○佐藤義朝、森潔史、大井清文、村上英恵、阿部深雪
岩手医科大学・リハビリテーション科 西村行秀
第 56 回日本リハビリテーション医学会学術集会 兵庫県神戸市 2019 年 6 月 13 日
2. 高校在学中に受傷した脊髄損傷患者が留年せずに復学できた 2 症例
いわてリハビリテーションセンター・診療部○村上英恵、大井清文、佐藤義朝、森 潔史、阿部深雪
岩手医科大学附属病院・リハビリテーション医学科 西村行秀
第 56 回日本リハビリテーション医学会学術集会 兵庫県神戸市 2019 年 6 月 14 日
3. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業による平成 29 年度までの 3 年間の指導者の活動の
拡がり と 課題
いわてリハビリテーションセンター・診療部○大井清文、佐藤義朝、森 潔史、阿部深雪、
村上英恵、岩手医科大学附属病院・リハビリテーション医学科 西村行秀
第 56 回日本リハビリテーション医学会学術集会 兵庫県神戸市 2019 年 6 月 15 日
4. 重度嚥下障害における完全側臥位法の適応と実践
いわてリハビリテーションセンター・診療部○佐藤義朝、森 潔史、大井清文
第 4 回岩手神経内科症例研究会 岩手県盛岡市 2019 年 6 月 15 日
5. リハビリ中に精神症状が出現し、フェリチンの減少を伴った神経疾患の 2 例
いわてリハビリテーションセンター・診療部○大井清文、佐藤義朝、森 潔史、村上英恵、村田深雪
岩手医科大学・リハビリテーション医学科、西村行秀
第 46 回日本リハビリテーション医学会東北地方会 福島県福島市 2019 年 8 月 31 日
6. 重複障害を有する重度嚥下障害に対し、完全側臥位法により 3 食自力摂取が可能となった 1 例
いわてリハビリテーションセンター 診療部○佐藤義朝、大井清文 機能回復療法部 女鹿清香、診療部
高橋静恵
第 25 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会 新潟県新潟市 2019 年 9 月 6 日
7. 施設でもできる！ 嚥下障害の評価と新しい治療アプローチ～完全側臥位法の実践～
いわてリハビリテーションセンター診療部 ○佐藤義朝
令和元年度口腔ケア従事者研修会 岩手県盛岡市 2019 年 10 月 11 日

地域・在宅支援科

8. 農業への復職を目指した脊髄損傷の一例～玄関の先にある畑へ～
地域在宅支援室 ○高階欣晴
第 6 回日本地域理学療法学会学術大会 京都府京都市 2019 年 12 月 13～15 日

イ 看護部

9. 退院を目指す全失語患者の主介護者の思いを引き出すための交換ノートを用いた効果
○古澤歩夢、後藤由美、上斗米律子、大井清文、中村令子
リハビリテーションケア合同研究大会 in 金沢 2019 石川県金沢市 2019 年 11 月 21～22 日

ウ 医療連携部

総合相談科

10. 就労意向のある方への支援に関する研究
～当センターを退院した 7 名の語りから MSW の役割を考察する～
○後藤敦博、上田大介、阿部泰子、青山美音、石鉢みづほ、巢内洋肇
第 27 回日本社会福祉士会・全国社会福祉士学会 茨城県つくば市 2019 年 6 月 2 日

- 1 1. 高次脳機能障害者支援ツール「高次脳機能障がいカルタ」を通じた今後の普及活動に関する一考察
○大江みづほ、阿部深雪、八重樫一洋、上田大介、吉田賢史、後藤敦博、村上敏昭、村田美歩
令和元年度第 32 回保健福祉環境行政セミナー 岩手県盛岡市 2020 年 2 月 7 日

エ 機能回復療法部
理学療法科

- 1 2. 当センターにおける片側大腿切断者の歩行速度の経時的変化
-退院時と現在の歩行速度の比較・検討-
○村上敏昭、山下浩樹、関公輔、佐藤英雄
第 35 回日本義肢装具学会学術大会 宮城県仙台市 2019 年 7 月 13～14 日
- 1 3. 下腿切断者における膝歩き動作と義足歩行の運動力学的検証
○村上敏昭、小野寺一也、関公輔
第 37 回東北理学療法学会学術大会 福島県福島市 2019 年 9 月 14～15 日
- 1 4. 誤嚥性肺炎後廃用症候群を来した症例に対する一考察
○千葉なつ美、佐藤義朝、中村一葉、小野寺一也、大井清文
第 37 回東北理学療法学会学術大会 福島県福島市 2019 年 9 月 14～15 日
- 1 5. 自立歩行を獲得した軸索型ギラン・バレー症候群の一例
○江口舞人、関公輔、佐藤義朝（診療部）
第 21 回岩手県理学療法士学術大会 岩手県盛岡市 2019 年 9 月 22 日
- 1 6. 脳卒中片麻痺患者における早期歩行練習が自立歩行の獲得に与えた影響
○柳葉美優、関公輔、小野寺一也
第 21 回岩手県理学療法士学術大会 岩手県盛岡市 2019 年 9 月 22 日
- 1 7. 腕神経叢損傷に伴う上肢単麻痺が歩行に与える影響
- 麻痺側上肢への補助具が歩行に与える運動力学的検証 -
○村上敏昭、小野寺一也、関公輔
第 7 回日本運動器理学療法学会学術集会 岡山県岡山市 2019 年 10 月 5～6 日
- 1 8. 岩手県シルバーリハビリ体操 1 級指導者養成における現状と課題
- 1 級養成課程の実習に着目して -
○佐藤英雄、渡辺幸太郎、村上敏昭、山崎麻友、照井恵利香、渡部祐介、高橋真由美、八重樫一洋
大井清文
リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢 2019 石川県金沢市 2019 年 11 月 21～22 日

作業療法科

- 1 9. 食べる事への意欲が ADL 向上に繋がった症例
○山崎瑞香、川畑智代、山本晶子
第 29 回東北作業療法学会 山形県山形市 2019 年 6 月 22 日～23 日
- 2 0. 上肢用ロボット型運動訓練装置を導入して上肢機能向上を図れた一症例
○村田あすか、浦沢さき、長山悦子
第 29 回東北作業療法学会 山形県山形市 2019 年 6 月 22 日～23 日
- 2 1. いわてリハビリテーションセンターにおける自動車運転再開支援を行った患者への追跡調査
Follow-up of Driving Resumption Support in Patients
○小笠原未久、石川侑利奈、大久保訓、阿部深雪、大井清文
第 53 回日本作業療法学会 福岡県福岡市 2019 年 9 月 6 日～8 日
- 2 2. 卒後 5 年以下の作業療法士を対象とした災害時リハビリテーション支援に関する意識調査
○渡部祐介、大久保訓、鷹嘴悦子、大井清文
第 53 回日本作業療法学会 福岡県福岡市 2019 年 9 月 6 日～8 日
- 2 3. 自動車運転再開に向けて教習所の協力を得て実車評価した事例の追跡調査報告（第一報）
○大久保訓、小笠原未久、石川侑利奈、千葉聖矢、鷹嘴悦子、阿部深雪、大井清文
第 33 回岩手県作業療法学会 岩手県花巻市 2019 年 11 月 16 日
- 2 4. 自動車運転再開支援を行った患者への追跡調査
～運転の際に注意している点と病前との運転の相違について～
○藤原史帆、小笠原未久、石川侑利奈、山本晶子、大久保訓、阿部深雪、大井清文
第 33 回岩手県作業療法学会 岩手県花巻市 2019 年 11 月 16 日

25. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業の5年の経過 今後の展望と課題
 ○渡部祐介、小志戸前奈那、山崎麻友、照井恵利香、佐藤英雄、高橋真由美、八重樫一洋
 大井清文
 第33回岩手県作業療法学会 岩手県花巻市 2019年11月16日
26. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業における平成30年度まで活動の広がりについて
 ○照井恵利香、山崎麻友、渡部祐介、村上敏昭、渡辺幸太郎、佐藤英雄、高橋真由美、八重樫一洋
 大井清文
 リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢2019 2019年11月21日～22日
27. 教習所の協力を得て実車評価した事例の追跡調査報告
 ○大久保訓、千葉聖矢、石川侑利奈、小笠原未久、鷹觜悦子、阿部深雪、大井清文
 第4回日本安全運転・医療研究会 福井県福井市 2019年12月13～14日
28. 自動車運転再開支援を行った患者への追跡調査(第二報)
 ○小笠原未久 藤原史帆 石川侑利奈 大久保訓 大井清文
 第4回日本安全運転・医療研究会 福井県福井市 2019年12月13～14日

言語聴覚療法科

29. 3次元舌力測定器を用いたバイオフィードバック訓練のための基礎検討
 ○阿部信之、外下育美、後藤理佳子、渡部小麦、高橋志帆、佐藤義朝、大井清文
 岩手大学 大学院工学研究科 佐々木将瑛、佐々木誠
 第19回言語聴覚学会 富山県 2019年6月22日～23日

B 院内研究発表会

院内職員の研究への意識付けや理解のために毎年、年2回実施している。

ア 第51回院内研究発表会 2019年9月4日 17:30～18:30

1. 頸髄損傷四肢麻痺者の社会参加向上に向けた取り組み ～自助具の作成を通して～
 作業療法科 ○吉田健
2. 高次脳機能障がい者支援ツール「日々ノート」有効性についての一考察
 臨床心理科 ○吉田賢史、阿部深雪、八重樫一洋、上田大介、後藤敦博、村上敏昭
3. クリニカルラダーレベルⅡ以下の看護師が症例検討会を通して看護師の立場役割発揮できる体制を整備 ～事前準備とリフレクションを促す取り組み～
 看護部 ○上斗米律子
4. リハビリ中に精神症状が出現し、フェリチンの減少を伴った神経疾患の2例
 診療部 ○佐藤義朝、森潔史、阿部深雪、村上英恵、大井清文

イ 第52回院内研究発表会 2020年3月25日 17:30～18:30

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う院内措置として中止

C データベース構築及び運用(予後予測システムの構築)

- ア データベースソフトの構築
- イ データベース入力手順の取り決め及び運用
- ウ データベース入力(約4846症例)
- エ 予後予測式の作成および精度の検討

D 動作解析装置運用に関して

動作解析装置の臨床応用を可能にし、より客観的なデータを示すことにより、リハ医療のエビデンスを構築する。そのために十分に器機やデータ分析の方法を理解する必要がある。

国際医療福祉大学大学院教授山本澄子先生を3回招聘し指導受ける。

(2019年6月5日、9月2日、12月6日)

- ア 機器の精度の検討
- イ 測定法、データ分析の指導を受ける(片麻痺患者の運動解析、健常者における運動機能分析)
- ウ 健常者、患者の動作計測
- エ 学会等で発表
- オ センター職員への教育

E 研究開発部からの派遣

県外で行われている、イベントや研修会に参加し最新の知識を吸収し、研究や臨床、県内専門職への情報提供に生かしていく。

- ア 第46回国際福祉機器展 2019年9月25日～27日 東京
作業療法科 吉田 健

F 研究開発部センター内情報発信活動

- ア 研究開発部マガジン（1回/月、院内向け）No. 310～322 発行
- イ これってな～に??（1回/月 院内向け）No. 99～110 発行
院内向けに、最新の研究や学会情報などを発信し、研究活動に活かしてもらう。
 - ・ホームページの紹介
 - ・リハニュース 福祉機器の紹介
 - ・トピックス
 - ・学会、研修会情報
 - ・研究発表演題の紹介

G 研究活動の支援

- ア 文献検索システムの管理、運営、マニュアル作成
- イ 動画編集システムの管理、運営
- ウ 統計処理のアドバイス
- エ 統計勉強会

H 現在進行中の研究

臨床の中で継続的に検討しているものも含めて、下記のような継続研究テーマを持っている。

- ア 脳血管障害者、頭部外傷者における高次脳機能障害の評価に関する基礎研究
- イ モーターコントロール（運動制御）に関する基礎研究
- ウ 四肢切断者に関する義手、義足の適合に関する検討
- エ C I 療法に関する研究
- オ 嚥下障害に関する基礎研究（VF検査も含む）
- カ 福祉用具、福祉機器に関する調査、研究
- キ 脳卒中片麻痺患者の動作分析
- ク 脳卒中片麻痺患者の機能回復に関する予後予測
- コ 失語症者における聴覚機能に関する研究
- サ 車いすシーティングにおける基礎的研究

I その他

- ア いわて医療機器事業化研究会研修会参加、協力
- イ 先進医療機器等開発プロジェクトへの協力
- ウ リハビリテーションの提供に関わる総合的な調査研究（リハビリテーション医学会）
- エ 戦略的研究開発推進事業研究実施プロジェクトへの参加・協働研究
- オ 県立大学と共同研究 ①失語症と聴覚機能の評価②失語症者向け自主練習用アプリの開発
- カ データベース構築に関するシステム開発